

地井武男さん地元にも多大な貢献

▶ 匝瑳警察署「一日警察署長」 よかっぺ祭りオークション売り上げを市へ



大勢の人で盛り上がったスペシャルオークション

本市の観光大使を務めている俳優の地井武男さんは、忙しい仕事の合間をぬって本市に帰ってきては地元への貢献を続けています。

9月24日(月)に「交通安全ふれあいコンサート・IN匝瑳 ～安心・安全な匝瑳市を目指して～」が市民約300人の参加により市民ふれあいセンターで開催され、地井さんが匝瑳警察署の「一日警察署長」となって駆けつけました。地井さんは講演の中で、飲酒運転による事故は毎日のようにテレビや新聞等で報道されており、「飲酒運転は重大事故につながる恐れがあり、絶対にしないように！」と参加者に訴えました。

10月21日(日)に開催された第29回よかっぺ祭りでは、『地井武男さんのスペシャルオークション』が行われ、ドラマなどで着た数十点のスーツや帽子などが出品されました。ブランド品が多数を占めましたが、地井さんは「一度着たものだから」と1,000円程度からのスタートとしていました。オークションでの売り上げとポケットマネーを合わせた10万円は「市の発展のために」と寄付されました。



大観衆の前で堂々と指揮をする川口さん

小学生音楽鑑賞教室

プロオーケストラの演奏にうっとり

6年生3人が指揮者を体験

小学生にプロオーケストラの生演奏を体験してもらおうと、「小学生音楽鑑賞教室」が10月2日(火)市民ふれあいセンターで開催され、集まった市内小学生約400人は、「カルメン組曲」「交響曲第5番『運命』」などの名曲を、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による迫力ある生演奏で鑑賞しました。

指揮者体験コーナーでは、川口裕加さん(平和小)、田村遥さん(椿海小)、本村洋樹さん(八日市場小)の3人が「ハンガリー舞曲第5番」を指揮。一生懸命に指揮する姿に、温かい拍手が贈られました。生まれて初めて指揮者を体験した3人は「難しかった」「指揮に合わせて弾いてくれて助かった」などと興奮気味に話していました。

みんなとの共同生活、楽しかったよ！

はばたけ未来へ！通学合宿

「はばたけ未来へ！通学合宿」が9月22日(土)～29日(土)県立匝瑳高校「至誠館」を会場に行われ、市内の小学5～6年生25人が参加しました。

この事業は、児童たちが親元を離れ、大学生や高校生と合宿生活をしながら学校へ通い、食事作りや洗濯などを通じて自主性や協調性を高めるため、さふさ通学合宿実行委員会により行われたものです。

児童たちは朝6時起床、22時就寝という規則正しい生活を送り、大学生たちに助けられながら自主性と協調性を学びました。

参加した児童からは「お父さんやお母さんの苦労がわかった」「家でも料理を作るけど、家よりここの方が楽しい」などの声が聞かれました。



中学生のお姉さんたちも応援に来てくれました



夕食は麻婆豆腐。鍋の扱いも慣れました



▲海岸を練り歩く十二所神社の神輿



▲勇壮に御浜下りを行う六社神社の神輿

荒波を背に神輿をもむ

十二所神社御神幸祭、六社神社御神幸祭

栄・野田地区を代表する伝統行事「十二所神社御神幸祭」「六社神社御神幸祭」が10月7日(日)、14日(日)にそれぞれ行われ、荒波を背に威勢良く神輿(みこし)をもみ、五穀豊穰、豊漁、商売繁盛を祈願しました。

秋篠宮殿下が匝瑳市産ヤマボウシをお手植え

平成19年度全国都市緑化祭

平成19年度全国都市緑化祭が10月11日(木)に船橋市内で開催され、須賀地区高の林靖之さんが育てた植木「ヤマボウシ」を、秋篠宮殿下がお手植えされました。

本市の植木産業が全国的に有名なことと、花言葉が「友情」であることから、本市産の「ヤマボウシ」が選ばれたものです。

林さんは「秋篠宮殿下にお手植えいただき、大変光栄です。植木屋みょうりに尽きます。これを励みに今後ますます植木生産に力を入れて行きたいです。」と語りました。



秋篠宮殿下お手植えのヤマボウシと林靖之さん



しっかりと足を踏ん張って「エイッ！」

野田小児童が落花生を収穫

子供たちが体験学習を通じて、食や農への正しい理解を深める「ちばっ子元気に」食と農の体験事業が今年度、県内の小中学校で実施され、本市では野田小学校が実施対象校に選ばれています。校内の畑では9月28日(金)に、県を代表する畑作物・落花生の収穫作業が行われました。参加した4年生と5年生約100人は、

地域の農家の方や先生に、くわの使い方や作業のやり方を教わりながら畑作業に汗を流しました。自分たちで育てた落花生の鈴なりになった実が地中から顔を出すと、児童たちの歓声が上がりました。

たくさんとれたよ

子供たちを物語の世界へ

「おはなしやさん」人形劇

市民ふれあいセンターで9月29日(土)大型紙芝居などを出前しているボランティアサークル「おはなしやさん」による人形劇が行われました。この日披露されたのは、食べると病気が治る梨を三兄弟が探しに行く「やまなしもぎ」というお話。

劇を観覧していた子供たちは、凝った作りの人形が織り成す物語の世界に引き込まれ、梨を探して歩く兄弟に声援を送っていました。



人形劇の世界に引き込まれる観客たち